



能登島地区
地域福祉懇談会



2月12日(水)、能登島地区地域福祉懇談会が開催されました。

日頃から地域づくり協議会の活動に携わって下さっている、町会連合会生活福祉部会委員、民生児童委員、地域福祉推進員の方々に集まって頂き、七尾市地域包括支援センターが行った「健康や暮らしに関するアンケート」の結果報告会と、地区ごとにわかれての意見交換会が行われました。

アンケート結果の報告

アンケート結果として、能登島の強みは自然が豊かなので田畑や海で活動する人が多く、元気な体を維持してい

コミセン
便り第97号

能登島新聞

る、通いの場やご近所、家族同士での支え合いがあるという傾向が見られました。

その反面、気になることとしては「バスの本数が少なく、病院や買い物がない」、「震災で近所に助けてくれる人がいない」、「家族が遠方に住んでいる」など生活や将来への不安が多く回答に上がっていました。

意見交換会

その後のグループワークでも、一人暮らし、二人暮らしの高齢者世帯とどのように関われば、どこまで踏み込んで良いのかなど各地区で同じような意見が多々見られました。

まずは自分たちが住む町で困りごとや見守りに対して誰が担えるか、民生委員、地域福祉推進員、女性会など協力、連携して出来る事から取り組んでいける活動が大事だと感じました。

今後に向けて

今後は、地域づくり協議会でも地区ごとの福祉マップの作成や、よりあいの場やコミュニティカフェの開催など誰もが集まれる居場所づくりを行って行きたいと思えます。



2025
3
月号

利賀地域づくり協議会と
地域連携協定を締結



この度、富山県南砺市利賀村の利賀地域づくり協議会と、相互の地域の強みを活かした協力を推進するため、「地域連携協定」を締結しました。2月1日に両会長出席のもと利賀創造交流館において締結式を行いました。

交流のきっかけ

令和2年度ディスプレイスカバー農山漁村(むら)の宝の授賞式会場にて、利賀村で山林整備・資源活用事業を行う(社)moribio森の暮らし研究所の江尻さんと同席したご縁から始まり、同研究所主催の「森の暮らし塾」

への参加や、協議会としての視察研修などで利賀を訪問し、利賀のメンバーも能登島へ何度か訪れていただいています。今回は、島っ子クラブの「合宿」として利賀を訪問しました。

末永い交流を

利賀地域は、冬期には3メートルを超える「雪の壁」ができる豪雪地帯で、山深い地域です。能登島の「海」と利賀村の「山」という特色を生かして、今後も末永く交流を続けていきたいと思えます。



部会活動

総務部会 報告

◆能登島地域づくり協議会の活動を視察していただきました

●城東小学校区自治会長会 (兵庫県丹波篠山市)

2月17日(月)に「城東小学校区自治会長会」様が参加者24名で視察のため、能登島を訪問されました。

まず冒頭に、能登島地区の福祉施設への義援金贈呈式が行われました。次に研修では、地震発生時のようすや被害状況・復旧状況について、また、避難所運営や「能登島応援まあそい市」などの協議会としての活動についてお話をしました。

後半は、協議会幹事・町会連合会役員と参加者がグループに分かれて意見交換を行い、活発に議論が交わされました。



●田原地域自治協議会 (奈良県奈良市)

2月23日(日)、奈良市より「田原地域自治協議会」様が20名で能登島にいらっしやいました。

当会は、令和3年に発足したばかりで、地域状況や課題も似ていることか

ら、熱心に質問をいただき中身の濃い対話となりました。

事務局長からの閉会の挨拶では、「能登島も先進地域というわけではなく、地域の課題に対して試行錯誤でもがきながら活動している。また引き続き意見交換を続けていけたら」と述べ、今後も情報交換していくことを確認しました。

◆老舗米屋に学ぶ 能登島の米作りの未来

2月12日(火)、東京の老舗米穀店「隅田屋商店」の片山真一氏を講師に迎え、「100年続くお米屋さん」に学ぶ米づくりと流通の今・これから」をテーマとした講演会を開催しました。片山氏は、代々受け継がれてきた「古式精米製法」を守りながら、独自の「隅田屋ブランド」を手掛けるなど、日本の米文化を支えてきた専門家です。

講演会には、能登島の農家さんをはじめ、米づくりに関心を持つ方々が集まりました。

「能登島の米」ブランド化の可能性

片山氏は、能登島の豊かな自然環境を活かした米づくりの可能性や、地域復興と産業振興を目指した農地保全の重要性について語りました。また、能登島米の品質や魅力を最大限に活かしたブランド化や販路拡大の方法についても具体例を交えながら説明し、参加者からは多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

お米の食べ比べで実感する違い

講演後には、お米の食べ比べを行い、同じ品種のお米でも精米方法や洗い方、炊飯時のひと工夫によって味わいや食感が変化することを実感しまし

た。

参加者の声と今後の展望

参加者からは、「炊きあがった後に少し工夫を加えるだけで、より美味しくなるのが分かった」「能登島米のブランド化について、改めて考えさせられた」といった感想が聞かれました。今後、能登島ならではの魅力を全国に発信しながら、その美味しさを多くの人々に届けるための取り組みを続けていきます。



◆地域商社(仮)事業 検討結果報告会

能登島地区の産業復興の一助となることを目指して検討を進めてきた、地域商社(仮)事業内容・推進体制の大幅についての方向性をまとめ、報告会を開催しました。

当日は20名ほどが参加し、活発な意見交換が行われました。

来年度を目途に会社を設立し、農林水産・観光分野の事業を行っていきます。



生活福祉部会 報告

◆令和6年度生活支援 コーディネーター研修会

2月19日(水)、石川県社会福祉協議会主催のオンライン生活支援コーディネーター(SCC)研修会に参加しました。

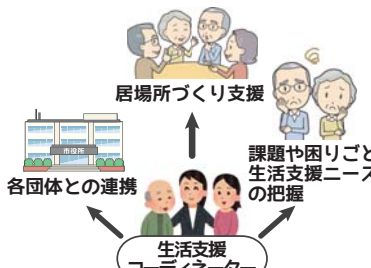
「マッチング」の重要性

医療経済研究機構政策推進部副部長・中村一朗氏による講義では、「SCCの活動実践」と題し、令和5年度からの全国アンケート調査を基に、活動実態や環境整備の重要性について全国の事例を交えてお話がありました。SCCの役割として、要支援者が集える居場所づくりと、地域の人や資源をつなげる「マッチング」の重要性を強調されました。

課題と今後の取り組み

講義を受け、能登島地区では元気な高齢者が活躍する一方で、要支援・要介護の方が地域との関わりを持ち続けられる環境整備が課題だと感じました。ケアマネージャーや地域包括支援センターと連携し、支援のアイデアを出し合いながら、活動の場を広げていく必要があります。

能登島の高齢者が元気なうちから地域や専門職とつながり、介護が必要になっても支援を受けながら自分らしく暮らし続けられるよう、今後も支援を続けていきたいと思えます。



教育文化部会 報告

利賀地域連携事業 利賀村交流ツアー



2月1日～2日、島っ子クラブの特
別企画として、17人の島っ子たちと富
山県南砺市利賀へ行ってきました。

今回、能登島と利賀で「地域連携協
定」を結び、両地域の交流が新たなス
テージへと進みました。それぞれの地
域の魅力を味わうために、島っ子たち
は利賀の豪雪を体験。行く先々で深い
雪が迎えてくれました。

初日は、地元建設業者さんが作っ
てくれた特設の滑り台でそり遊び。そ
りや浮き輪のようなもので前向き、後
ろ向き、さまざまな滑り方を試しなが
ら大はしゃぎ。そのうち雪合戦や雪掘
りなど、雪遊びに夢中になりました。

午後は、利賀上村地区のそば会へ。
低学年の子どもたちや興味のある高学
年の子ども、大人がそば打ちを体験。
夕方には地元の方々と一緒に打ちたて
のそばを美食。「そばが苦手」と言っ
ていた子も「美味しい!」と言ってペ
ロリと平らげ、おかわりするほどでし
た。

夜は、風間に作った雪の壁を活用し
たキャンドルロードに設置したキャ
ンドルに灯りを灯し、幻想的な光景が広
がりました。

翌日は、利賀の小中学生と合同で雪
中運動会を行いました。

個人戦では、ストラックアウト、そ
り滑り、雪積み、長靴歩き競争など7
つの競技で合計点を競いました。

後半の団体戦では「利賀VS能登島」
で雪合戦とバケツ倒し競争。その後、
混合チームで雪積み競争を行い、みん
なで役割分担しながら力を合わせて積
み上げて4mを超える雪の塔を完成さ
せました。

運動会の後は、利賀の子どもたちが
用意してくれた郷土料理のおやきや五
平餅を堪能。最高の味でした。

この2日間は、島っ子達にとつて忘
れられない体験、楽しい思い出ができ
ました。利賀地域づくり協議会、利賀
の皆さん、このような機会を作ってい
ただきありがとうございました。

夏には、利賀っ子たちが能登島に來
てくれる予定。能登島の魅力を存分に
感じてもらえるよう準備を進めたいと
思います！



北陸中日新聞北陸本社にて 能登島をPR

昨年開催して大変盛り上がった
「ティラノサウルスレース」をのこじ
まトライアスロン実行委員会の運営全
面協力のもと、今年も開催すること
になりました。

能登島のPRとティラノサウルス
レース・トライアスロン大会の告知の
ため、金沢の北陸中日新聞本社を訪問
し、トライアスロン実行委員会ととも
に取材を受けました。

昨年は、例年7月に実施していたト
ライアスロン大会を中止せざるを得
ず、代替イベントとして「ティラノサ
ウルスレース」をトライアスロン実行
委員会が主催し、「能登島応援まあそ
い市」とコラボ開催しました。

今年のトライアスロン大会は、別日
で8月に開催予定です。

ティラノサウルスレース in 能登島

短い腕を精一杯ふりながら、全
力疾走するティラノサウルスたち
が大集結！笑いあり、熱戦ありの
大迫力レースに、お友達やご家族
と一緒に、参加してみませんか？

- 開催日：令和7年5月25日（日）
- 会場：マリノパーク海族公園
- 参加資格：ティラノサウルスの
衣装なら誰でもOK！
- 参加申込：4月1日（火）にエ
ントリー受付を開始予定です。



行政からのお知らせ

行政・市民くらしの相談

相談担当者：行政相談委員、人権擁護委員

3.21
金



日常生活の困りごと、人権
相談をお受けします。
予約は不要です。

3/21（金）
10:00～12:00
コミセン 集会室1 にて

能登島の今	1月31日現在	先月比較
世帯	959	(- 2)
人口	2,269	(- 18)
男	1,075	(- 14)
女	1,194	(- 4)

年齢別人口	人数	先月比較
0～19歳	257	(- 4)
20～64歳	964	(- 11)
65歳～	1,048	(- 3)
計	2,269	(- 18)

能登島の
現状を
知ろう



お知らせ

能登香島中 復興応援活動
復興ごみゼロ大作戦 in 能登島

能登香島中学校では、震災復興に向けて各学年でさまざまな活動に取り組んできました。

今回、2年生が中心となり、協議会の環境美化ゴミ拾いと合同で能登島地区のゴミ拾い活動を実施します。皆様のご協力をお待ちしております。

- ◆日時：3月16日（日）9:00～11:00頃
- ◆集合：能登島コミセン前
- ◆持物：軍手・暖かい服装
- ◆清掃場所
 - ・須曾地区～東部地区（集落間の道路）



- ◆注意事項
 - ・清掃日当日は、多くの方が参加しているので、車の走行には十分注意して下さい。
 - ・ゴミ袋・火ばさみは用意します。
 - ・少雨決行、荒天中止
 - ※中止の際は協議会 HP・SNS でお知らせします。

島っ子クラブ イベント予定

1. 宿題おたすけ会

- 【日時】 3月26日（水）9:30～12:30
- 【場所】 能登島コミセン 集会室2
- 【参加費】 500円（昼食付き）
- 【持ち物】 宿題・筆記用具・飲み物



2. みんなのベンチプロジェクト
◆作りたいベンチの模型作り◆

来年度の島っ子クラブでは、能登島の木を活用してコミセン裏広場にベンチを作るプロジェクトを行いたいと思います。それに先立ち、粘土を使って好きなベンチを考えてみよう！

- 【日時】 3月26日（水）13:30～16:00
- 【参加費】 無料
- 【協力】 NPO 法人子ども未来研究所

- 【申込方法】
 - ・コミセン、小学校へ用紙を提出
 - ・島っ子クラブ LINE から申込
 - ・右記の QR コードから申込



【締切】 3/21（金）17時まで

【お問合せ】

能登島地域づくり協議会（田口・出島）まで
TEL：84-1110 FAX：84-1311
Mail: notojimacomcen@gmail.com

High performance Residence 森のような温もり
構造計算専門 全棟構造設計
ファーストクラスで暮らす
by 西川総合建築 Presents

【問合せ先】
にしけん社長
☎0120-911-018
七尾 西川

お部屋、水廻りのリフォーム専門店 部屋セレブ
屋根、外壁のリフォーム専門店 みちがえる君

エッ!? 毎月 9,800 円で新築のような家に住めるの!?
※一日当たり 320 円（当社提携銀行借入時）

新築のような外壁や屋根、間接照明とキュートな内装にリフォームをして、お客さんに自慢できるお家にしませんか?
にしけん社長が責任をもってあなたの人生とお部屋を変えます!

＜人生が変わるお見積もりはこちらまで＞
担当：にしけん社長 ☎0120-911-018